

# 今昔物語

その53

## 紀伊井田郵便局

井田地区



昭和12年

提供：蔵本一範氏



現在

今回は昭和12年に撮影された、紀伊井田郵便局の写真をご紹介します。この写真は井田の蔵本一範さんからご提供いただいたもので、創業当時の郵便局と、蔵本一範さんの祖父にあたる初代局長の蔵本増市さんが写っています。この建物と土地は蔵本増市さんが提供されたもので、当時、郵便局を開設する際には地域の名士が提供することが一般的だったそうです。

蔵本さんに話を伺ったところ、向かって左側で郵便の受け取りや貯金などの業務を、右側で電話の交換台や電報などの業務を行っており、夜間など急ぐときは、右側の窓から受け付けができるようになっていたそうです。

昭和51年7月に同じ場所へ現在の紀伊井田郵便局が建設され、現在の姿となりました。

### — 昔の風景写真を募集します —

広報さほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

## つむぎつむぎ

### 痛風発症

先日、人生初の人間ドックに行くと、その結果が届き確認したところ、おおむね異常なしだったのですが、唯一悪かったのが尿酸値。実はこれまで職場での健康診断でも長いこと高い数値を叩き出していたのですが、本格的に発症したことがなく、大丈夫かなと思いついて放置していました。

なので、人間ドックの結果をみてどちらかというと安心してはいたのですが、その少し後に本格的に痛風が発症。1日様子を見ていたのですが、症状が悪化し、風が吹いても痛いという言葉の意味を体感しました。その後、病院にかけこみ薬をいただき症状は治まったのですが、健康の大事さを改めて思い知りました。（初めてお薬手帳を作成 愛野裕基）

### 発刊200号を迎えて

広報担当になり、今月号で1年5か月。いつもこのころよく取材を受けてくださる方、広報の配達を楽しみに待っていてくださる方、いつもありがとうございます。

広報紙の作成は、締め切りを迎えても、またすぐ来月号の作成に取り掛かるので、ゴールのないリレーをしているみたいです。締め切りが近づくと一向に進まない紙面を見て、気持ちだけが先走り、頭を抱えたり、最近は何に追われる夢を見たりもします(笑)。しかし、先輩方の思い出話などを聞くと、まだまだ素敵な出会いやでることがこれから先待っているんだろうなあ、とワクワクしています。これからも楽しみながら、先輩方の想いを受け継ぎ、精一杯がんばりますので、応援よろしく願っています。



広報担当 大森菜央



広報担当 廣野ゆき

